

RDM Drive利用マニュアル(プロジェクト管理者向け)

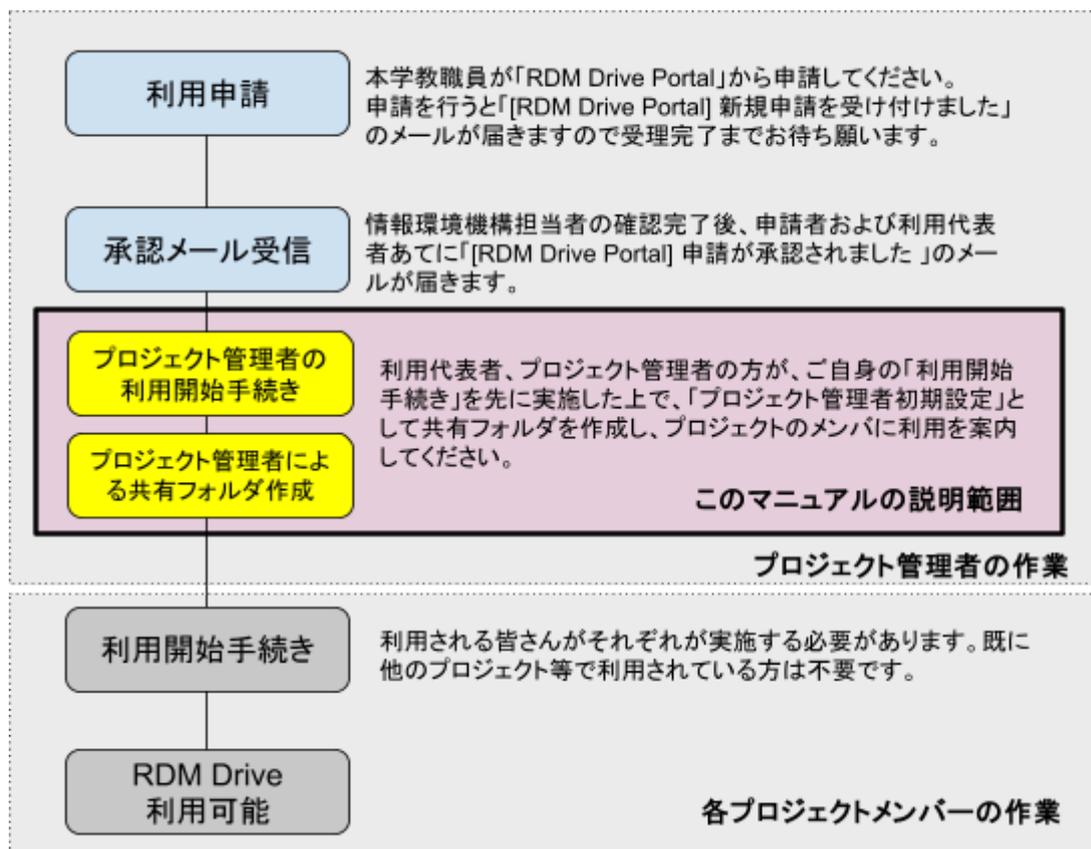
目次

目次.....	1
用語の説明/Explanation of Terms.....	2
利用までの流れ.....	3
プロジェクト管理者の利用開始手続き.....	4
プロジェクト管理者初期設定.....	5
プロジェクト管理者による共有フォルダの作成.....	5
共有設定に利用するグループの種類.....	5
固定グループ(標準で作成されるグループ).....	5
カスタムグループ.....	5
プロジェクトメンバー全員で共有する共有フォルダを作成(推奨).....	6
(参考)共有を受けた側での見え方.....	7
(オプション)カスタムグループに共有設定する場合.....	7
(オプション)研究プロジェクトのメンバーに含まれる個人に共有設定する場合.....	7
RDM Drive Portal のプロジェクト管理者向け機能.....	8
使用容量の確認.....	8
プロジェクト管理者・プロジェクトメンバーの変更.....	9
カスタムグループの管理.....	10
このマニュアルを読んでも分からないことがある場合は.....	11

用語の説明/Explanation of Terms

	名称	役割	備考
1	申請者	申請手続きを実施する利用代表者本人または利用代表者の指示で事務手続きを代行される方	<ul style="list-style-type: none"> SPS-IDを保持している本学教職員 1名のみ
2	利用代表者	プロジェクト管理者の中で、当該の利用について代表される方	<ul style="list-style-type: none"> SPS-IDを保持している本学の教職員(研究者) 1名のみ
3	プロジェクト管理者(本マニュアルの対象者)	各プロジェクトの管理(設定変更、メンバーの追加・削除など)ができる。	<ul style="list-style-type: none"> SPS-IDを保持している本学の教職員(研究者) 複数名指定可能
4	プロジェクトメンバー	サービスを利用可能	<ul style="list-style-type: none"> 本学構成員(教職員、学生)、学外の共同研究者等 複数名指定可能
5	固定グループ	RDM Driveでフォルダ共有を行う際に使用する、あらかじめ作成されているグループ	<ul style="list-style-type: none"> rdXXXXX_admin プロジェクト管理者のみが所属するグループ rdXXXXX_all プロジェクト管理者およびプロジェクトメンバー全員が所属するグループ
6	カスタムグループ	RDM Driveでフォルダ共有を行う際に使用する、プロジェクト管理者が任意に作成できるグループ	<ul style="list-style-type: none"> 作成・削除およびメンバーの追加・削除はプロジェクト管理者が実施

利用までの流れ



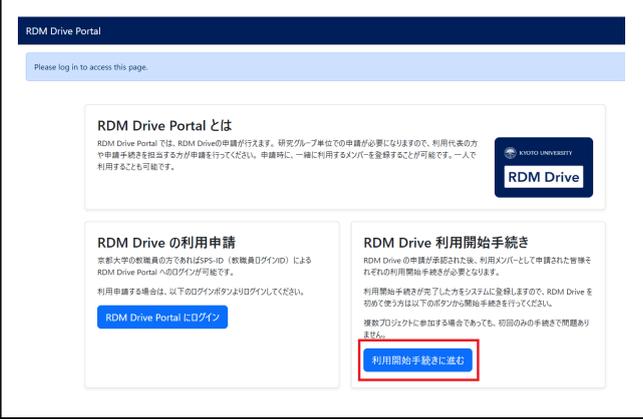
- RDM Drive Portal: <https://portal.rdm.kyoto-u.ac.jp/>
- 本マニュアルでは、プロジェクト管理者の方に実施いただく「プロジェクト管理者の利用開始手続き」「プロジェクト管理者初期設定」についてご案内します。
- プロジェクトメンバー向けのマニュアルは以下で公開しています。
<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/storage/rdmdrive/manual.pdf>

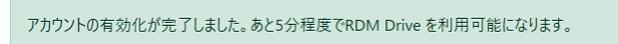
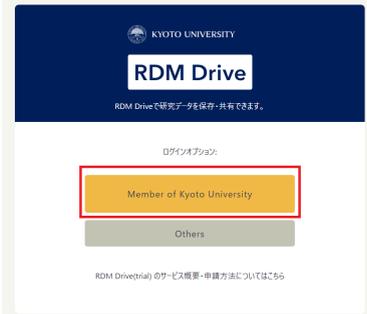
プロジェクト管理者の利用開始手続き

プロジェクトメンバーは、プロジェクト管理者が共有フォルダの設定を実施しないと、プロジェクトの領域を使用することができません。そのため、まずはプロジェクト管理者(利用代表者は自動で含まれます)の方の利用開始手続きを行っていただく必要があります。

なお、既に他のプロジェクトでRDM Driveを使用されている場合は、利用開始手続きは不要です。

※ 利用開始手続きの手順は、プロジェクトのメンバーの皆さん(本学構成員)と同様です。

<p>1</p> <p>RDM Drive Portal https://portal.rdm.kyoto-u.ac.jp/ にアクセスし「利用開始手続きに進む」をクリック</p>	
<p>2</p> <p>「京都大学所属者」をクリック</p>	
<p>3</p> <p>(全学アカウントのログイン画面が表示された場合は、自分自身のSPS-IDまたはECS-IDでログインする。多要素認証の表示が出た場合もログインする)</p>	
<p>4</p> <p>「ストレージサービス利用規則」を確認した上で、「利用規則に同意する」にチェックをして「送信」</p>	

5	送信確認の表示が出るので「送信」をクリック	
6	有効化完了の表示が出ます。5分程度お待ちいただくとRDM Driveが利用可能になります。	 <p style="text-align: center;">RDM Drive Portal とは</p>
7	(5分後) RDM Driveにログインできます。 https://drive.rdm.kyoto-u.ac.jp/ 「Member of Kyoto University」のボタンからログインできます。	

5分お待ちいただいた後、引き続き、「プロジェクト管理者初期設定」へ進んでください。

プロジェクト管理者初期設定

プロジェクト管理者による共有フォルダの作成

共有設定に利用するグループの種類

RDM Driveでは「固定グループ」と「カスタムグループ」というグループを利用した共有設定が可能です。

固定グループ(標準で作成されるグループ)

本サービスでは、以下の固定グループが自動作成されます。

固定グループのメンバー変更は、RDM Drive Portalの「プロジェクト管理者・メンバー変更」から行ってください。

- rdXXXXXX_admin
プロジェクト管理者のみが所属するグループ
- rdXXXXXX_all
プロジェクト管理者およびプロジェクトメンバー全員が所属するグループ

カスタムグループ

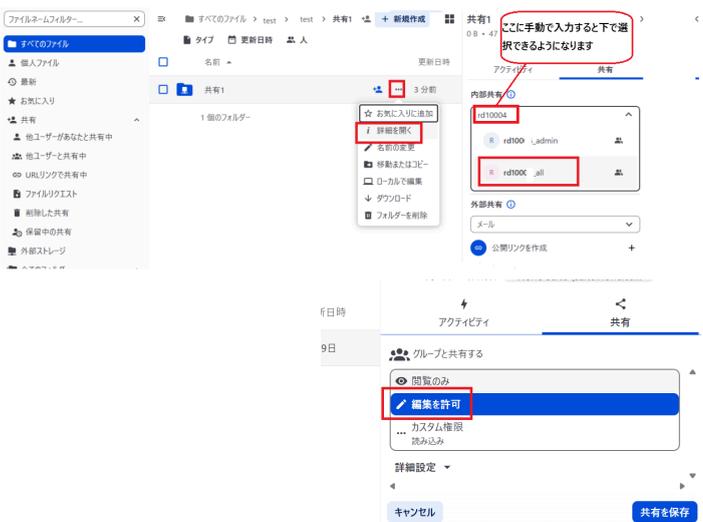
プロジェクト管理者が任意に作成・削除およびメンバーの追加・削除ができるグループです。最大10個作成でき、カスタムグループ名は「rdXXXXXX_」に続く任意の文字列を指定します。

プロジェクトメンバー全員で共有する共有フォルダを作成(推奨)

ここでは、最も基本的な使用方法として、固定グループである「rdXXXXXX_all」を利用してプロジェクトメンバー全員で共有する共有フォルダを作成する手順を説明します。

なお、プロジェクトメンバー全員ではなく、カスタムグループへの共有や個別に共有することも可能ですが、設定に際しては事前にそれぞれのメンバーが「利用開始手続き」を完了している必要があります。

1	RDM Drive https://drive.rdm.kyoto-u.ac.jp/ の「Member of Kyoto University」のボタンからログインしてください。	
---	--	---

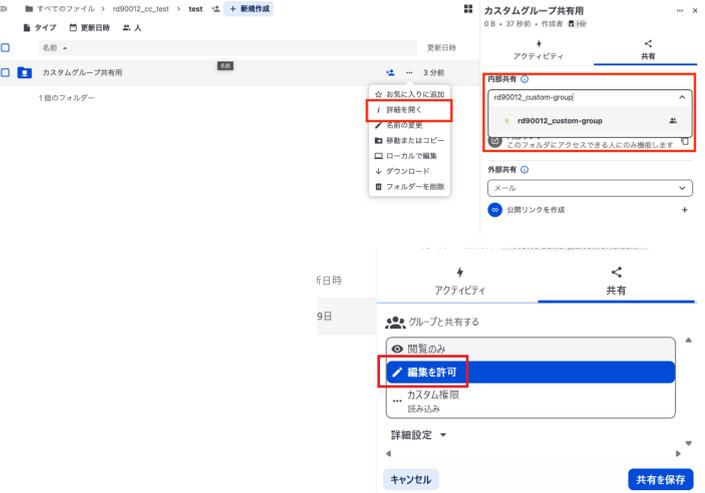
2	プロジェクト用のフォルダに移動	
3	共有用のフォルダを作成 ※ 複数プロジェクトでRDM Driveを使用するケースを想定して、共有された側で判別しやすい名称(例:〇〇プロジェクト全員共有)を推奨します。	
4	<p>【初回設定推奨】共有設定(フォルダ詳細を開き「rdXXXXX_all」に共有設定)</p> <p>※ここでは「編集を許可」としていますがプロジェクトの目的に応じて設定してください。</p>	

(参考)共有を受けた側での見え方



(オプション)カスタムグループに共有設定する場合

特定のカスタムグループ単位で共有したい場合に利用します。
 設定には事前にカスタムグループを作成している必要があります。
 カスタムグループの作成方法については「カスタムグループの管理」をご参照ください。

1	<p>RDM Drive https://drive.rdm.kyoto-u.ac.jp/ の「Member of Kyoto University」のボタンからログインしてください。</p>	
2	<p>プロジェクト用のフォルダに移動</p>	
3	<p>共有用のフォルダを作成</p> <p>※ 複数プロジェクトでRDM Driveを使用するケースを想定して、共有された側で判別しやすい名称(例:〇〇プロジェクトXXグループ向け共有)を推奨します。</p>	
4	<p>共有設定(フォルダ詳細を開き作成したカスタムグループに共有設定)</p> <p>※ここでは「編集を許可」としていますがプロジェクトの目的に応じて設定してください。</p>	

(オプション)研究プロジェクトのメンバーに含まれる個人に共有設定する場合

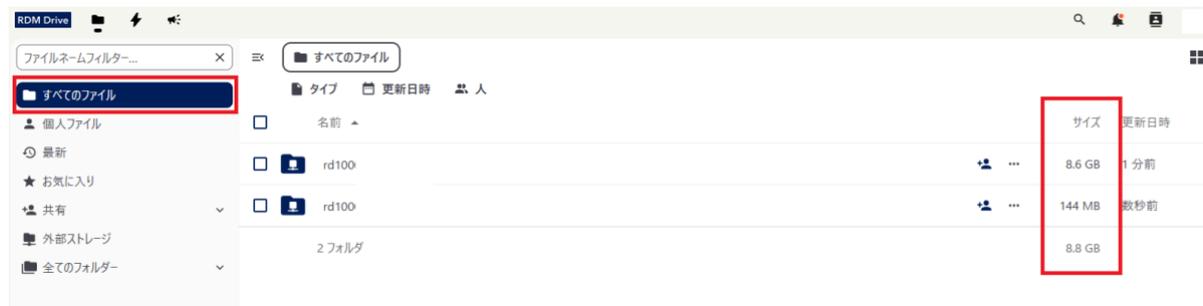
特定の個人のみと共有したい場合に利用します。
事前にそれぞれのメンバーが「利用開始手続き」を完了している場合は、個人に共有設定することも可能です。

<p>1</p>	<p>RDM Drive Portal https://portal.rdm.kyoto-u.ac.jp/ にログインし「サービス一覧」で当該サービスのサービスIDをクリックします。</p>	 <p>サービス一覧</p> <p>キーワードを入力 <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="Clear"/> <input type="button" value="利用状況"/></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービスID</th> <th>サービス種別</th> <th>利用状況</th> <th>プロジェクト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ss90</td> <td>オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>マニュアル</td> </tr> <tr> <td>rd90</td> <td>RDM Drive 2TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>ポータル</td> </tr> <tr> <td>rd90</td> <td>RDM Drive 2TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>ポータル</td> </tr> </tbody> </table>	サービスID	サービス種別	利用状況	プロジェクト	ss90	オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン	利用中	マニュアル	rd90	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル	rd90	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル
サービスID	サービス種別	利用状況	プロジェクト															
ss90	オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン	利用中	マニュアル															
rd90	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル															
rd90	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル															
<p>2</p>	<p>「プロジェクト管理者一覧」、「プロジェクトメンバー一覧」に利用開始手続きの状況と登録されている氏名(手続き済の場合)が表示されます。</p>	 <p>プロジェクト所管部局: 情報部</p> <p>プロジェクト管理者一覧(Email)</p> <ul style="list-style-type: none"> @kyoto-u.ac.jp 氏名: 氏1 z@kyoto-u.ac.jp 氏名: 氏2 yoto-u.ac.jp 氏名: 氏3 <p>プロジェクトメンバー一覧(Email)</p> <ul style="list-style-type: none"> s10002.sakura.ne.jp 氏名: 氏1 0002.sakura.ne.jp 氏名: 氏2 z@st.kyoto-u.ac.jp 氏名: 氏3 																
<p>3</p>	<p>RDM Drive https://drive.rdm.kyoto-u.ac.jp/ でフォルダ詳細を開きプロジェクトメンバーが「利用開始手続き」時に登録した氏名を入力し共有設定できます。</p>	 <p>共有1 (0 B, 数秒前)</p> <p>共有の受信: <input type="text" value="入力してください"/></p> <p>共有者: 京大 太郎 (kyodai.taro@gmail.com)</p>																

RDM Drive Portal のプロジェクト管理者向け機能

使用容量の確認

使用中の容量はRDM Drive <https://drive.rdm.kyoto-u.ac.jp/> で確認できますが、本サービスでは、バージョン機能を使用しているため、上記画面で表示される容量より、実際の保管容量は大きくなります。(容量の差異はファイルの更新の状況によります)



実際の保管容量は、RDM Drive Portal <https://portal.rdm.kyoto-u.ac.jp/> で、プロジェクト管理者およびSPS-ID(教職員アカウント)をお持ちのプロジェクトメンバーの方がご確認いただけます。(「サービス一覧」で当該サービスのサービスIDをクリックしてください。)

プロジェクトメンバー一覧(Email)	
● 利用開始済み	
▲ 利用開始手続き未実施	

ストレージ利用状況

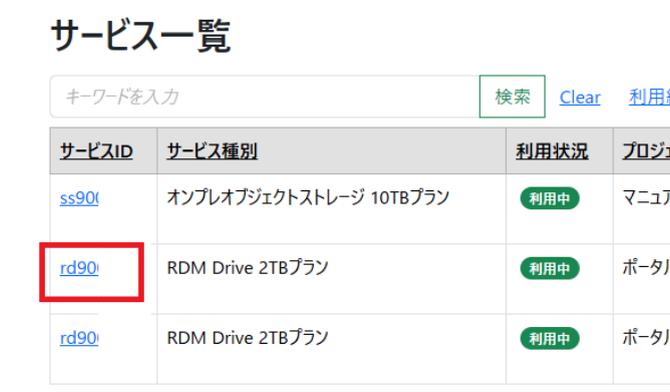
ファイル数(オブジェクト数)	使用容量
12,663	67.67 GB

申請履歴

プロジェクト管理者・プロジェクトメンバーの変更

RDM Drive Portalでは、プロジェクト管理者およびプロジェクトメンバーの追加・削除が可能です。

変更内容は固定グループ(rdXXXXX_admin / rdXXXXX_all)に自動反映されます。

<p>1</p>	<p>RDM Drive Portal https://portal.rdm.kyoto-u.ac.jp/ にログインし「サービス一覧」で当該サービスのサービスIDをクリックします。</p>	 <p>サービス一覧</p> <p>キーワードを入力 <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="Clear"/> <input type="button" value="利用状況"/></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービスID</th> <th>サービス種別</th> <th>利用状況</th> <th>プロジェクト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ss90</td> <td>オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>マニュアル</td> </tr> <tr> <td>rd90</td> <td>RDM Drive 2TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>ポータル</td> </tr> <tr> <td>rd90</td> <td>RDM Drive 2TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>ポータル</td> </tr> </tbody> </table>	サービスID	サービス種別	利用状況	プロジェクト	ss90	オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン	利用中	マニュアル	rd90	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル	rd90	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル
サービスID	サービス種別	利用状況	プロジェクト															
ss90	オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン	利用中	マニュアル															
rd90	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル															
rd90	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル															
<p>2</p>	<p>サービス詳細画面にて「プロジェクト管理者・メンバー変更」をクリックします。</p>	 <p>サービス詳細</p> <p>サービス詳細 プロジェクト管理者・メンバー変更 カスタムグループ管理</p> <p>連絡事項 以下のボタンから、変更/停止/継続申請が可能です。操作可能な項目のみ表示されます。</p> <p><input type="button" value="利用情報変更申請"/> <input type="button" value="サービス種別変更申請"/> <input type="button" value="停止申請"/> <input type="button" value="継続申請"/></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容												
項目	内容																	
...	...																	
<p>3</p>	<p>追加: プロジェクト管理者またはプロジェクトメンバーの「追加」ボタンをクリック後、表示されるウィンドウで追加したい方のメールアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。</p>	 <p>プロジェクト管理者の追加</p> <p>プロジェクト管理者 - メールアドレス一覧 test@...@ne.jp</p> <p>[複数指定可] プロジェクトの管理権限を持つメンバーを、1メールアドレス毎に実行して記入してください。利用代表者は記入を省略しても自動的にプロジェクト管理者として登録されます。プロジェクト管理者は京都大学の方に限定しており、メールアドレスは@kyoto-u.ac.jpドメインに限定しています。</p> <p>戻る <input type="button" value="追加"/></p>																
	<p>削除: プロジェクト管理者またはプロジェクトメンバーの「削除」ボタンをクリック後、表示されるウィンドウで削除したい方のメールアドレスにチェックを入れて「削除」ボタンをクリックします。</p>	 <p>プロジェクトメンバーの削除</p> <p>対象者にチェックを入れて「削除」を押してください。ログイン中のユーザー自身は削除できません。削除対象のメンバーは、所属しているカスタムグループからも削除されます。</p> <p><input type="checkbox"/> ...@ne.jp <input checked="" type="checkbox"/> est@...@ne.jp</p> <p>戻る <input type="button" value="削除"/></p>																

カスタムグループの管理

RDM Drive Portalでは、サービス毎にカスタムグループを作成・管理できます。

作成するカスタムグループのメンバーに追加するには、事前にプロジェクト管理者もしくはプロジェクトメンバーとして追加しておく必要があります。

<p>1</p>	<p>RDM Drive Portal https://portal.rdm.kyoto-u.ac.jp/ にログインし「サービス一覧」で当該サービスのサービスIDをクリックします。</p>	 <p>サービス一覧</p> <p>キーワードを入力 <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="Clear"/> <input type="button" value="利用状況"/></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービスID</th> <th>サービス種別</th> <th>利用状況</th> <th>プロジェクト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ss9012</td> <td>オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>マニュアル</td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>rd9012</td> <td>RDM Drive 2TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>ポータル</td> </tr> <tr> <td>rd9012</td> <td>RDM Drive 2TBプラン</td> <td>利用中</td> <td>ポータル</td> </tr> </tbody> </table>	サービスID	サービス種別	利用状況	プロジェクト	ss9012	オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン	利用中	マニュアル	rd9012	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル	rd9012	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル
サービスID	サービス種別	利用状況	プロジェクト															
ss9012	オンプレオブジェクトストレージ 10TBプラン	利用中	マニュアル															
rd9012	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル															
rd9012	RDM Drive 2TBプラン	利用中	ポータル															
<p>2</p>	<p>サービス詳細画面にて「カスタムグループ管理」をクリックします。</p>	 <p>サービス詳細</p> <p>サービス詳細 <input type="button" value="プロジェクト管理者・メンバー変更"/> <input style="border: 2px solid red;" type="button" value="カスタムグループ管理"/></p> <p>連絡事項 以下のボタンから、変更/停止/継続申請が可能です。操作可能な項目のみ表示されます。</p> <p><input type="button" value="利用情報変更申請"/> <input type="button" value="サービス種別変更申請"/> <input type="button" value="停止申請"/> <input type="button" value="継続申請"/></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>.....</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容												
項目	内容																	
...																	
<p>3</p>	<p>グループ作成: 「新規カスタムグループ作成」をクリックし、カスタムグループ名を入力後、グループに追加するメンバーにチェックを入れて、「作成」ボタンをクリックします。</p> <p>※ 追加するメンバーとして選択できるようにするには、事前にプロジェクト管理者もしくはプロジェクトメンバーとして追加しておく必要があります。</p>	 <p>新規カスタムグループ作成</p> <p>プロジェクト管理者およびプロジェクトメンバーの中から、任意のメンバーを選択してカスタムグループを作成できます。カスタムグループは10個が上限です。</p> <p>カスタムグループ名 [必須]* rd90012_ <input style="border: 2px solid red;" type="text" value="custom-group"/> カスタムグループ名は「rd90012_」で始まり、英数字と記号（_）のみ使用できます。[20文字以内]</p> <p>グループメンバー [任意]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>メンバー</th> <th>氏名</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>lac.jp</td> <td>氏名: lac</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>a.ne.jp</td> <td>氏名: a</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>est</td> <td>氏名: ura.ne.jp</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="作成"/></p>	メンバー	氏名	氏名	<input checked="" type="checkbox"/>	lac.jp	氏名: lac	<input type="checkbox"/>	a.ne.jp	氏名: a	<input checked="" type="checkbox"/>	est	氏名: ura.ne.jp				
メンバー	氏名	氏名																
<input checked="" type="checkbox"/>	lac.jp	氏名: lac																
<input type="checkbox"/>	a.ne.jp	氏名: a																
<input checked="" type="checkbox"/>	est	氏名: ura.ne.jp																
<p>グループ削除:</p>	<p>削除したいカスタムグループの「グループ削除」ボタンをクリック後、表示されるウィンドウで「削除」ボタンをクリックします。</p>	 <p>削除確認</p> <p>rd90012_custom-group このグループを削除します。よろしいですか？ RDM Driveでの当該グループへの共有設定は、グループ削除後も残るため別途削除が必要です。</p> <p><input type="button" value="戻る"/> <input style="border: 2px solid red;" type="button" value="削除"/></p>																

4

メンバー追加:
メンバーを追加したいカスタムグループの「メンバー追加」ボタンをクリック後、表示されるウィンドウで追加したい方のメールアドレスにチェックを入れて「追加」ボタンをクリックします。



メンバー削除:
メンバーを削除したいカスタムグループの「メンバー削除」ボタンをクリック後、表示されるウィンドウで削除したい方のメールアドレスにチェックを入れて「削除」ボタンをクリックします。



このマニュアルを読んでも分からないことがある場合は

まずは、

- 情報環境機構の案内ページ
<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/storage/rmdrive>
- FAQ
<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/storage/faq>

をご確認ください。

上記で解決できない場合は、サービスID(「rd」ではじまる7文字)を明記の上、

- お問い合わせフォーム
https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/inquiry?q=i&q_detail=i-rdm

でお問い合わせください。